

StrainEye

歪検査器 LSM-2000LE シリーズ

LSM-2000LEシリーズは、偏光を利用してガラス、プラスチック、結晶などの内部応力による歪を検出する装置です。

直交ニコル法、円偏光法、鋭敏色法のそれぞれの検査方法に適した機種を用意しており、さらに光源として高輝度LEDの採用により長寿命、省電力を実現しました。小型、軽量で持ち運びも簡単です。



LSM-2100LE

直交ニコル法タイプ

歪の有無を鮮明に観察することができます。

用途

- 小型のガラス食器の検品
- 小型のプラスチック成型品加工時の条件設定及び検査、他

LSM-2200LE

円偏光法タイプ

観察物を回転させても、歪の分布パターンが変わりません。

用途

- ハロゲン電球など小型製品の検品
- レンズ・プリズムなどの小型部品の検査、他

LSM-2300LE

鋭敏色法タイプ

ごく僅かな歪も判別し、応力の方向を解析できます。

用途

- 小型のガラス食器の検品
- 小型のプラスチック成型品加工時の条件設定及び検査、他

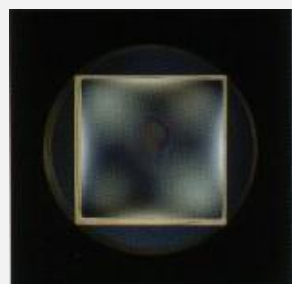
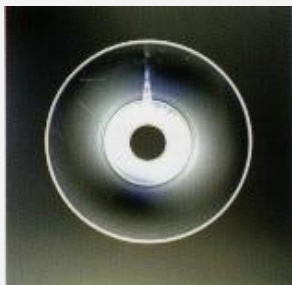
LED光源採用により長寿命で、小型・軽量のコンパクトタイプ登場

小型、軽量で持ち運びも簡単です。ハロゲン電球やレンズ、プリズムなど比較的小さな部品や製品に最適です。検査方法は、直交ニコル法、円偏光法、鋭敏色法の3タイプを用意しております。



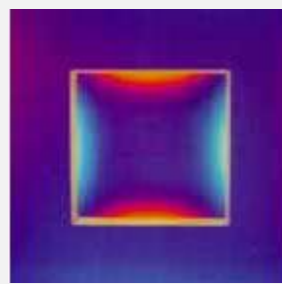
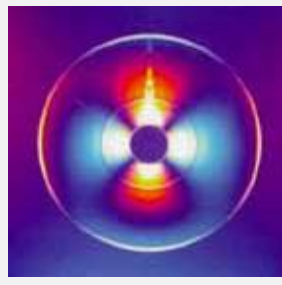
直交ニコル法

歪がある部分は、明るく白色に見え、歪のない部分は、試料周囲の視野と同じように暗く黒色に見えます。
歪量がより強くなると歪のある部分が青、緑、赤などの彩色で観察されます。



円偏光法

歪がある部分は、明るく白色に見え、歪のない部分は視野全体と同じように暗く黒色に見えます。
また、歪の主応力方向の影響を受けず歪を検出できますので、サンプルを回転させても歪の分布パターンが変わりません。この点が円偏光法の優れた特徴です。



鋭敏色法

歪がある部分は、青色系や橙色系に変化して見えます。
色調によって、ある程度の応力方向が判別できます。
歪のない部分は資料周囲の視野と同じように赤紫色に見えます。

LSM-2000LE シリーズ仕様

機種	LSM-2100LE	LSM-2200LE	LSM-2300LE
項目			
サイズ	W180×D245×H264mm		
装置重量	3.4kg		
アナライザー有効寸法	φ84mm		
ポラライザー有効寸法	W 120×D 120mm		
検査方式	直交ニコル法	円偏光法	鋭敏色法
光源	LED 白色 3000K		
消費電力	6W		
電源	AC100V		

株式会社ルケオ



Luceo co., ltd.

〒173-0024 東京都板橋区大山金井町30番9号
TEL.03-3956-4111(代) FAX.03-3956-2335

30-9, Ohyamakanai-cho, Itabashi-ku, Tokyo, 173-0024 Japan
TEL.+81-3-3956-4111 FAX.+81-3-3956-2335

<http://www.luceo.co.jp>